

ほほえみ

[6年生号]

桑野小学校保健室（平成29年11月28日）



小雪がちらつき、冬の訪れを感じるこの頃です。6年生にとっては、「小学校卒業」に向け、学習、運動の集大成の時期かと思います。しかし一方では、子どもの体から大人への体に変化していく時期を迎え、不安や期待も出始め、本当のことを知りたい、教えてほしいと願っている児童も増えてきています。SNS等による性情報の氾濫の中で、児童は正しい知識のないまま「ことば」だけを受け入れ、誤った理解をしてしまうことも少なくありません。そこで、4年生の保健学習において「思春期を迎えた心とからだの発達」を学びましたが、体の変化が始まっている6年生を対象に産婦人科医を講師に迎え、「性に関する講座」を実施しました。

11月8日(水) 『6年生 性に関する講座』

講師：土屋あさ子先生（トータルヘルスクリニック産婦人科医）

「命の大切さ、思春期を迎えた男女の体の変化について」



講座実施後の感想では、今回の授業内容を全員肯定的に受け止め、自分の体の変化を楽しみにしているようです。

講座開始に当たり、アンケート調査を実施しました。

- * 思春期を迎え、体の悩みがある児童は、男子約10%、女子約20%でした。しかし、講座後の感想を見ると、大半が疑問や悩みを抱えていました。
- * 悩みの相談相手は、男女ともに両親、祖母が多く、家庭内で体の健康や発育について話し合いを持っている様子が伺われました。次に多いのが友達で、悩みを共有しているようです。しかし、中には誰にも打ち明けない児童も見られました。今回の講座で不安や疑問が軽くなってほしいと思います。
- * 性情報の取得について、少数ではありますが、SNS活用もあり、事件や事故に巻き込まれないよう、家庭、学校の連携した指導が必要になってきています。

＜＜児童の感想から抜粋（原文）＞＞

- スゴクためになったなあと思いました。というのも、ぼくたちはちょうど思春期に入ったところで、「性」ということへの意しきが高まってきているからです。今日学んだおかげで大人へと続く階段を確実に一段上がったと思います。
- 思春期がきて、ぼくは他の子とちがうから変などと思わず、ちゃんと個人差があるのでそこを意識したいと思います。
- ぼくが生まれる確率が3億分の1ということがわかりました。この大切に貴重な命を大事に守りたいです。もっとも心に残ったのは、お母さんが大変な思いをして生んでくれたことをずっと感謝したいです。
- 今回の話の中で自分と同じものがあり思春期を実感しました。毛が生えてきて気になっていたけど、土屋先生のお話のおかげで気楽になったような気がします。
- 自分の体になやみをかかえていたので、今回の話を聞いて心が軽くなりました。
- 今の今まで、性などははずかしくていらなかったと思っていました。じゅぎょうのおかげで性の大切さに気づけました。私は性のことをもっと大切にしていきたいです。

